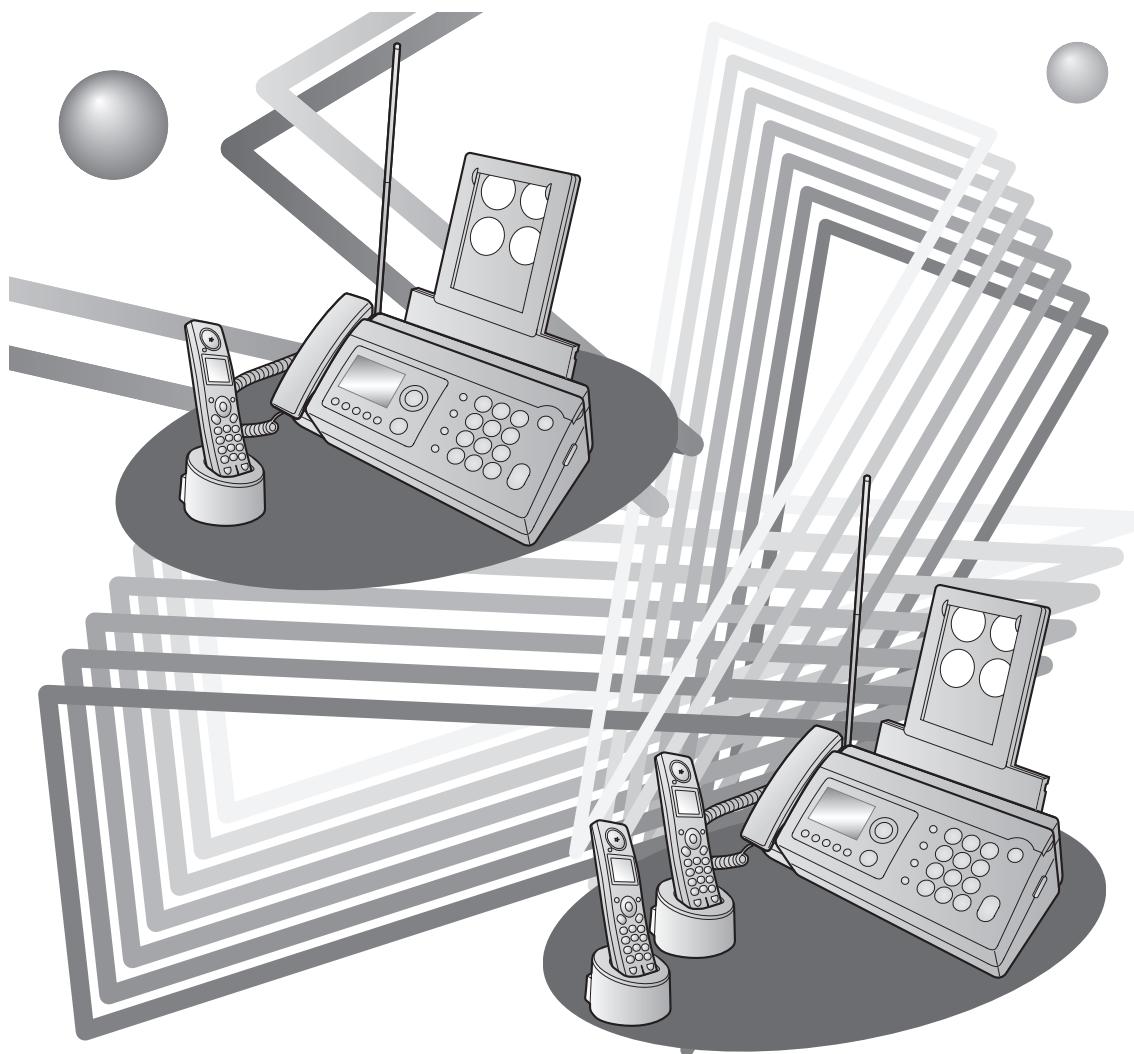
SHARP®

［ファッピィ:］
fappy*
FAX makes it happy.

普通紙コピーファクシミリ
取扱説明書 保証書付

形名 UX-F34CL（ユーエックス エフ シーエル）
UX-F34CW（ユーエックス エフ シーダブル）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

技術基準適合品

もくじ

第１章 ご使用の前に

<取　付>

<設　定>

第２章 電話

＜電話帳＞

第３章 コピー／ファクス

第4章 便利な機能

第5章 ナンバー・ディスプレイ

第6章 こまったときは

第7章 ご参考に

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号について

⚠ **危険** 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

⚠ **警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

上の記号は、してはいけないことを表しています。

上の記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 危険

充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となることがあります。

■充電池をネックレス・ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。

■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。

■充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。

■充電池は、専用のものを使用してください。

■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

失明のおそれがあります。

⚠ 警告

■水や薬品などの液体をこぼさないでください。

火災・感電の原因になることがあります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

■この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。

けがの原因になることがあります。

万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になることがあります。

⚠警告

■**浴そうなど、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。**
絶縁が悪くなり火災・感電の原因になることがあります。

■**ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。**
火災・感電の原因になることがあります。修理は販売店へご相談ください。

■**充電池のビニールカバーを、はがしたりしないでください。**

充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になることがあります。

■**内部に金属物を入れないでください。**
火災・感電の原因になることがあります。金属物が入った場合は、差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

■**煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。**
火災・感電の原因になることがあります。差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

■**雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。**
火災・感電・故障の原因になることがあります。

■**ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しはしないでください。**
感電の原因になることがあります。

■**この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流100V）に接続してください。**
海外や交流100V以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

■**電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。**
次のようなことはしないでください。

- 傷つける
- 無理に曲げる
- 加工する
- 無理にねじる
- 熱器具に近づける
- 重い物を載せる
- 無理に引っ張る
- 束ねる

傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になることがあります。
コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。

■**差し込みプラグを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。**
感電の原因になることがあります。

■**差し込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。**
感電や発熱による火災の原因になることがあります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。**
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になることがあります。

■**子機を充電するときは、専用の充電器を使用してください。**
指定以外のものを使用すると、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因になることがあります。

■**医療用電気機器の近くでは使用しないでください。**
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になることがあります。

⚠注意

■**水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。**
落下により破損・けがの原因になることがあります。

■**風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。**
通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。

■**充電器の上にコインやクリップなどの金属物を置かないでください。また、磁力線がでていますので、磁気に弱い物（キャッシュカード、テレホンカード、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。**
やけど、けがの原因となります。また、磁気に弱い物は使えなくなることがあります。

■**暑い場所や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近くには置かないでください。**
35℃以上、5℃以下では、誤動作・変形・故障の原因になることがあります。

■**火気や熱器具に近づけないでください。**
変形や故障、火災の原因になることがあります。

■**充電器を布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。**
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■**湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しないでください。**
火災・感電・故障の原因になることがあります。

■**この製品を移動するときは、アンテナをたたんで、差し込みプラグ・電話機コードを抜いてください。**
事故の原因になることがあります。

■**万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。**

○アース線を取り付けられるところ
電源コンセントのアース端子
銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
設置工事（D種）が行われている接地端子

○アース線を取り付けてはいけないところ
ガス管
電話専用アース
避雷針
水道管や蛇口

■**カバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。**
けがの原因になることがあります。

■**充電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。**

■**手で直接記録ヘッドに触れないでください。**
発熱している場合があり、やけどやけがの原因になることがあります。

■**点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。**
感電やけが（やけど）の原因になることがあります。

第1章
ご使用の前に

特長

バックライト付漢字表示液晶

親機も子機も、見やすい漢字表示液晶です。

親子漢字電話帳 (☞2-33～2-34、2-42～2-43ページ)

親機も子機も、100人×2番号を登録できる、漢字表示電話帳を搭載しています。

迷惑電話拒否機能 (☞5-28 ～ 5-29 ページ)

通話中にお断りメッセージを流して電話を切り、同じ番号からかかってきた電話を自動的にお断りすることができます。
※NTTの「ナンバー・ディスプレイ」サービス（有料）の契約が必要です。

音声ルームモニター機能 (☞2-20 ページ)

親機から指定した子機を無音で呼び出し、音声モニターすることができます。

呼びかけコール機能 (☞2-18 ～ 2-19 ページ)

内線通話時に、相手が通話を受ける操作をしなくても、スピーカーで話しかけることができます。

ホットラインダイヤル (☞2-47 ～ 2-48 ページ)

よく電話をかける相手の電話番号をホットラインダイヤルに登録すると、ワンタッチ操作で電話やファクスができます。
（親機は3件、子機は１件まで登録可能です。）

B4 サイズまでの原稿に対応 (☞3-2 ページ)

B4サイズまでの原稿を読み取ってファクスを送ることができます。（ファクスの受信や、コピーの出力はA4サイズまでとなります。）

子機間通話（トランシーバー方式） (☞2-16~2-17、2-22~2-23ページ)

UX-F34CWでは、子機と子機で内線通話をしたり、外の方からの電話を転送できます。
※UX-F34CLでは、別売の増設子機CJ-KS80、CJ-KS50を増設すると、内線通話や通話転送ができます。

AC アダプターのない充電器 (子機用)

しかも電磁誘導方式の無接点充電です。

ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイ対応 (☞第5章 ナンバー・ディスプレイ)

NTTの「ナンバー・ディスプレイ」サービス（有料）の契約をすると、電話がかかってきたときに、相手の方の名前や電話番号を液晶画面に表示します。
電話に出る前やキャッチホンでかかってきた相手の方の番号を確認できます。
NTTとの契約が必要です。（有料）

ホームセンサー対応 (☞4-25 ～ 4-34 ページ)

別売のホームセンサー（DZ-HS1/DZ-HS2）を増設すれば、ドアや扉、窓が開いたことや、ドアや扉の前の人の動き（温度の変化）を検知し、親機や子機にお知らせすることができます。

取扱説明書の見かた

タイトル
項目の大まかな内容を表しています。

中見出し
説明している操作などの具体的な内容を表しています。

機能説明
機能の内容を説明しています。

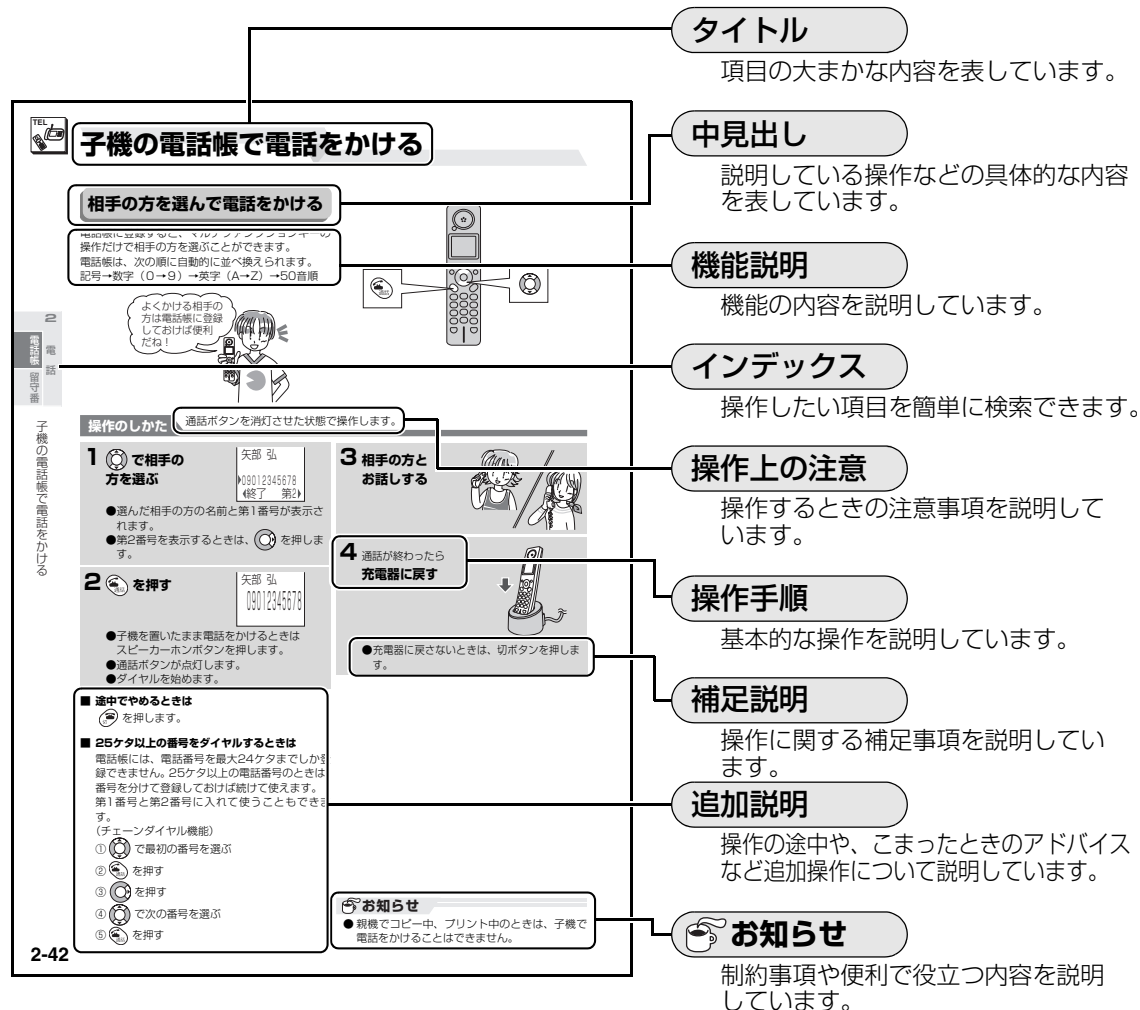
インデックス
操作したい項目を簡単に検索できます。

操作上の注意
操作するときの注意事項を説明しています。

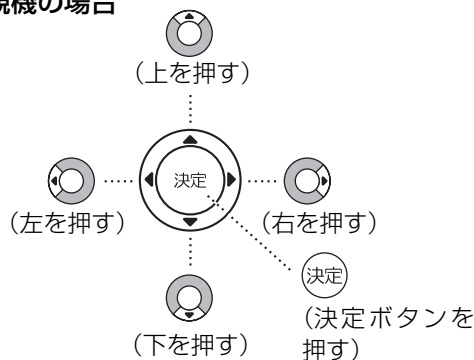
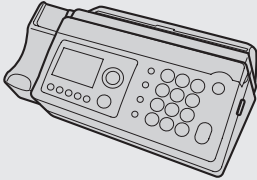
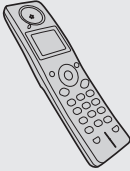
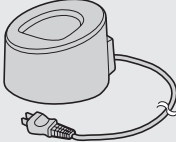
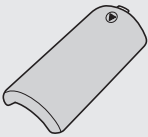
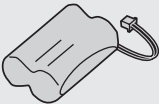
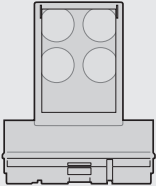
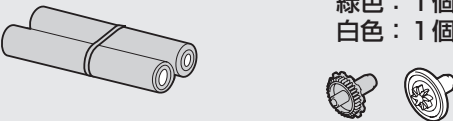
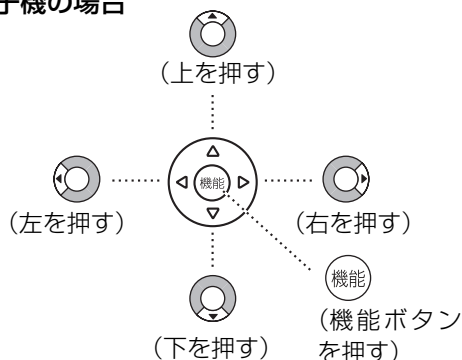
操作手順
基本的な操作を説明しています。

補足説明
操作に関する補足事項を説明しています。

追加説明
操作の途中や、こまったときのアドバイスなど追加操作について説明しています。

お知らせ
制約事項や便利で役立つ内容を説明しています。

操作手順でのボタンやマークの意味

取扱説明書内では次のように表記しています。

■ マルチファンクションキーの４方向（左・右・上・下）を押す操作を、下図のように示しています。
（決定）は親機の決定ボタン、（機能）は子機の機能ボタンを押す操作を示しています。

例：親機の場合　　**例：子機の場合**

付属品の確認

このたびは、「普通紙コピーファクシミリ」をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
まず、次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

親機　1台	受話器　1個 受話器コード　1本	子機 UX-F34CL：1台 UX-F34CW：2台	充電器（子機用） UX-F34CL：1個 UX-F34CW：2個
充電池ふた UX-F34CL：1個 UX-F34CW：2個	充電池 UX-F34CL：1個 UX-F34CW：2個	電話機コード（約2m）1本	記録紙カセット　1個

●インクリボンとインクリボン用ギヤは、あらかじめ親機にセットされています。

お試し用インクリボン（10m）1本

インクリボン用ギヤ
緑色：1個
白色：1個

●付属のお試し用インクリボンは、別売品のインクリボンに比べて長さが短くなっています。お早めに別売品のインクリボンを準備されるようおすすめします。
●お試し用のインクリボンがなくなったら、インクリボンのみを廃棄して別売のインクリボンに交換してください。
ギヤ（緑色1個、白色1個）は廃棄しないでください。

取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・1冊　　かんたん取り付けガイド・・・・・・・・・1部

※ 記録紙は付属していませんので、お買い求めください。（☞ 7-2ページ）

お知らせ

● この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞ 巻末の vi ～ vii ページ）
● お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
● この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

ご使用の前に知っていただきたいこと

ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTT のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要** となります。
詳しくは、**局番なしの 116 番（無料）** へお問い合わせください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。
This facsimile is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

この装置について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

子機について

■ 使用範囲を確かめる

子機と親機間の電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、半径約100mです。（直線見通し距離）
内線通話（☞2-14～2-15ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。

子機間でのトランシーバー方式内線通話は親機を経由して行います。子機と子機が近くても、親機から離れすぎると通話できなくなります。

■ 子機はいつも充電器に戻しておく

子機は使わないときも、充電器に戻しておいてください。充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

■ 親機と子機の間に障害物のある場所で使わない

マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。

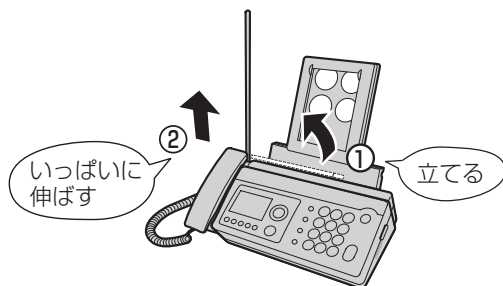
■ 雑音が入ることがあります

自動車やオートバイが近くを通ったときや、蛍光灯のスイッチを「入」「切」したときなど、雑音が入ることがあります。

■ **"傍受"にご注意ください**

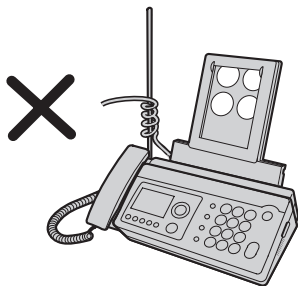
この商品は盗聴防止スクランブル機能を搭載していません。
コードレス子機を使っての通話は、電波を利用していますので第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。
機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

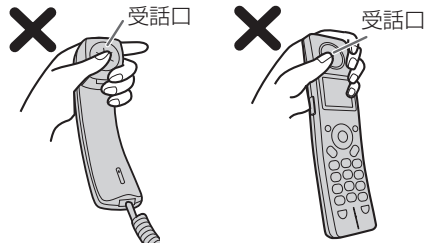
■ **親機のアンテナは立てて伸ばす**

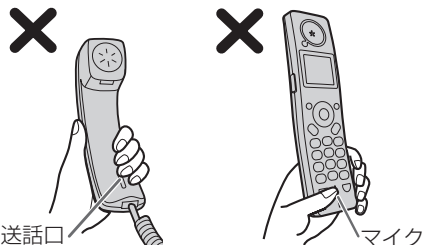
電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは必ず立てて伸ばしてください。

■ **子機の着信音は、遅れて鳴ります**

電話がかかってくると、はじめに親機の着信音が鳴って、そのあと、少し遅れて子機の着信音も鳴ります。

■ **アンテナにコードを巻き付けない**

親機の電源コードや電話機コード、充電器の電源コードをアンテナに巻き付けないでください。
着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。また、アンテナが破損する原因となります。

■ **受話口やスピーカーの穴をふさがない**

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ **送話口（マイク）をふさがない**

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ **取り扱いについて**

ご近所で子機（コードレス電話機）が使われているときは、正しく動作しないことがあります。
こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ **子機や充電器を設置するときは**

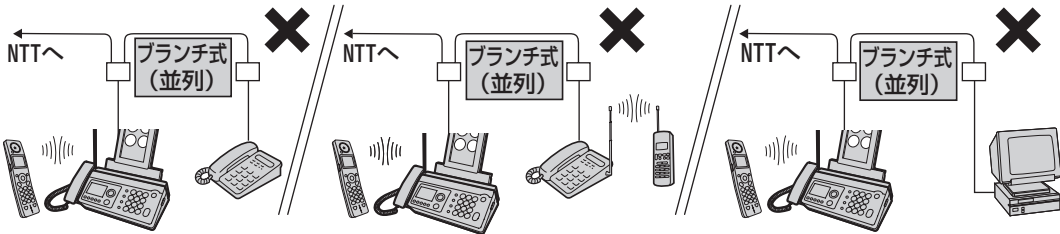
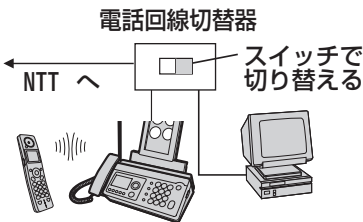
親機や他の増設子機、PHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）
子機の着信音が鳴らなくなることがあります。

■ **クイック通話は設定されていません**

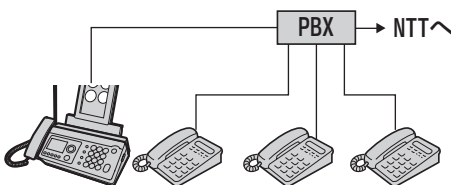
クイック通話とは、子機を充電器から取り上げるだけで、通話ボタンを押さなくても電話を受けることができる機能です。お買いあげ時には、クイック通話は設定されていません。設定のしかたは4-9ページをご覧ください。

接続について

■ ブランチ式（並列）に接続しない

● 下図のように、一つの電話回線を2つ以上に分けて並列に接続しないでください。共鳴したり、正常に機能が動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、電波が干渉し合って子機の着信音が鳴らないことがあります。同様にパソコン等を並列に接続しないでください。パソコンを並列に接続すると、パソコンでメールやインターネットをお使いのとき伝送速度が遅くなることがあります。

● パソコン等を接続する場合は、市販の電話回線切替器を接続すれば、一つの電話回線を切り替えて使用できます。

■ 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンへの接続について

● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は工事が必要です。
● お使いになるホームテレホンや交換機などの機種によって接続方法が異なります。
● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンに接続した場合、機種によってはナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、ナンバー・ディスプレイを利用しない設定にしてお使いください。(☞5-3ページ)
● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンに接続した場合、本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えることができないことがあります。

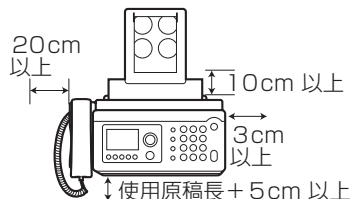
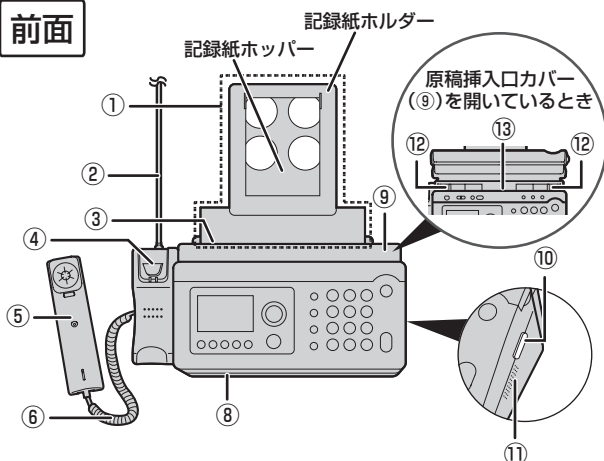
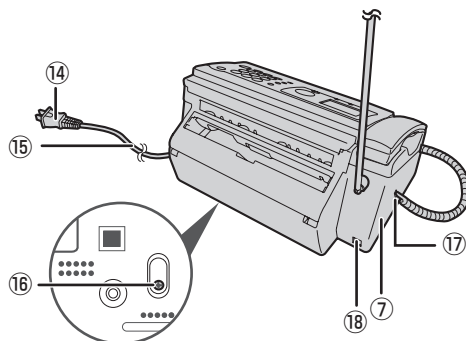
構内交換機(PBX)の場合

● **ホームテレホンとは**
電話回線１本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

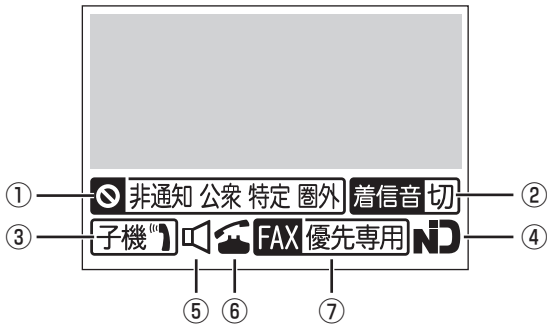
● **ビジネスホンとは**
電話回線を２本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

■ 設置について

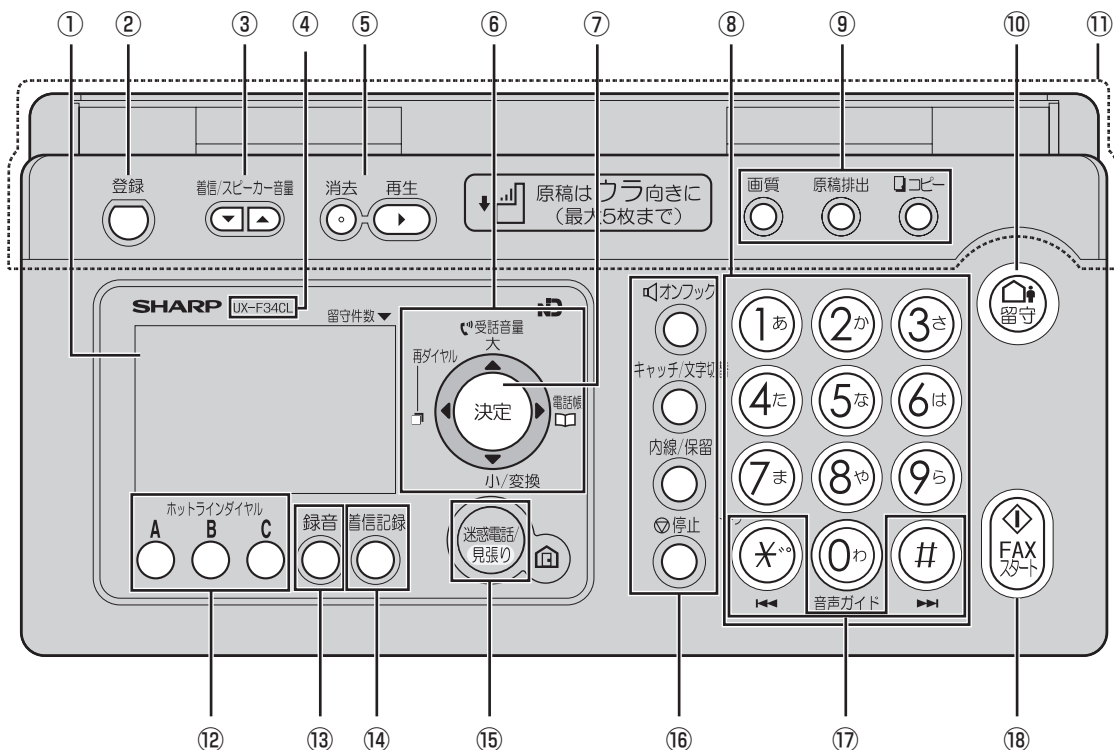
本商品の操作、消耗品の交換、日常点検など、本商品を正しく使用し機能を維持する作業を行うために、右図のような設置スペースを確保してください。

各部の名前とはたらき（親機）

各部の名前

①	**記録紙カセット**
	記録紙をセットします。 記録紙ホルダー：窓の部分にお好きなポストカードなどを入れ、フォトフレームとしてもお使いいただけます。
②	**アンテナ**
③	**記録紙排出口**
	記録紙がここから出てきます。
④	**フックスイッチ**
⑤	**受話器**
⑥	**受話器コード**
⑦	**スピーカー**
	録音を再生しているときや、オンフックボタンを押して受話専用にしているときは、ここから聞こえます。
⑧	**原稿排出口**
	原稿がここから出てきます。
⑨	**原稿挿入口カバー**
	原稿をセットするときに開きます。
⑩	**操作パネル解除ボタン**
	インクリボンを交換するときや、原稿、記録紙がつまったときに、このボタンを押して操作パネルを開けます。
⑪	**通気孔**
⑫	**原稿ガイド**
	原稿の幅に合わせます。
⑬	**原稿挿入口**
	ここに原稿をセットします。
⑭	**差し込みプラグ**
⑮	**電源コード**
⑯	**アース端子**
	本体の底面にあります。
⑰	**受話器接続端子**
	受話器コードを接続します。
⑱	**回線接続端子（回線差込口）**
	電話機コードを差し込みます。

ディスプレイ表示

①	着信お断りを設定しているときに表示します。
②	着信音を鳴らさない設定にしているときに表示します。
③	子機で外線通話や内線通話をしているときに表示します。
④	ナンバー・ディスプレイを設定したあと、一度着信したときに表示します。
⑤	オンフックボタンを押すと表示します。
⑥	受話器を取り上げているときに表示します。
⑦	FAX優先、またはFAX専用に設定しているときに表示します。

＊ 上の図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

操作パネル

①	液晶ディスプレイ（☞1-9ページ）

②	登録ボタン
	登録や設定を行うときに使います。

③	着信／スピーカー音量ボタン
	着信音量、スピーカー音量を変えるときに使います。

④	このファクシミリの形名です。 (UX-F34CLまたはUX-F34CW)

⑤	消去ボタン
	録音内容を消したりするときに使います。
	再生ボタン
	録音内容を再生するときに使います。

⑥	マルチファンクションキー
	各種の項目を選ぶときや、電話帳で相手の方を選ぶときに使います。 また、押す方向によって次の機能を兼用しています。 **は、(音量）／変換** **(☞1-29、2-31ページ)** 受話音量を変えるときに使います。 また、文字入力時は、ひらがなの漢字変換に使います。 **は、(再ダイヤル）／ポーズ** **(☞2-11、2-26、3-10ページ)** 同じ相手の方にもう一度ダイヤルするときに使います。(再ダイヤル) また、電話番号の登録中に、待ち時間を入れるときに使います。(ポーズ) **は、(電話帳)（☞2-26〜2-28、2-33〜2-34、3-10〜3-11ページ)** 登録した電話帳を消去、修正するときに使います。また、登録した内容を使って電話をかけるときなどに使います。

⑦	決定 **決定ボタン**
	選択や入力した内容の決定に使います。

⑧	**ダイヤルボタン**
	電話をかけるときや、文字入力、登録操作を行うときに使います。 電話がかかってきたときにも点滅します。 押したボタンの番号を音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）設定／解除したいときは4-4ページをご覧ください。 また、エラー発生時やコピー／ファクス使用中に 0わ 音声ガイド を押すと、音声によりエラーや使用状況をより詳細にお知らせします。（音声ガイド機能）

⑨	画質 **画質ボタン**
	原稿の文字の大きさや種類によって画質や濃度を選ぶときに使います。
	原稿排出 **原稿排出ボタン**
	セットした原稿を排出するときに使います。
	コピー **コピーボタン**
	原稿をコピーするときに使います。

⑩	留守 **留守ボタン**（☞2-49、2-51ページ）
	外出時、留守番電話にするときに使います。

⑪	**原稿挿入口カバー**
	原稿挿入口にホコリがたまらないように、原稿挿入口と操作パネルの一部をおおっています。 下記のボタンを使用するときはカバーを開けてください。 登録 着信/スピーカー音量 消去 再生 画質 原稿排出 コピー

⑫	**ホットラインダイヤルボタン（A、B、C）**（☞2-47ページ）
	ホットラインダイヤルに登録した番号に電話をかけるときに使います。 A、B、Cボタンにそれぞれ１件ずつのホットラインダイヤルを登録できます。

⑬	録音 **録音ボタン（☞4-2ページ）**
	通話録音やメモ録音をするときに使います。

⑭	着信記録 **着信記録ボタン**（☞5-12、5-14、5-16、5-18ページ）
	ナンバー・ディスプレイのご契約時に、着信記録を確認したり、記録された番号に発信するときなどに使います。

⑮	迷惑電話/見張り **迷惑電話／見張りボタン**（☞4-25、5-28ページ）
	ホームセンサーの増設時に、見張りモードに設定したり、迷惑電話をお断りするときに使います。

⑯	オンフック **オンフックボタン（☞2-3、3-9ページ）**
	受話器を置いたままダイヤルするときに使います。
	キャッチ/文字切替 **キャッチ／文字切替ボタン**（☞2-29、2-30、4-15ページ）
	キャッチホンを利用するときに使います。 また、文字を入力するとき、入力モード（漢、カナ、英字、数字）を切り替えるときに使います。
	内線/保留 **内線／保留ボタン**（☞2-10、2-14、2-18、2-20～2-21、2-24ページ）
	子機と内線でお話しするときや、相手の方を保留メロディでお待たせするときに使います。
	停止 **停止ボタン**
	操作や送信を途中で止めるときに使います。

⑰	トーン ✱ **は、トーン／⏮（戻し）**（☞2-52、4-14ページ）
	再生中に録音内容を聞き直したり、１つ前の録音内容を聞いたりするときに使います。 また、ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するときに使います。
	# **は、⏭（送り）（☞2-52ページ）**
	再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

⑱	FAXスタート **FAXスタートボタン**（☞3-7、3-9、3-10～3-11、3-14、3-16、3-20ページ）
	ファクスを送るときや受けるときに使います。 また、メモリー受信したデータをプリントするときに使います。

各部の名前とはたらき（子機）

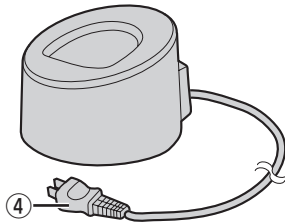
各部の名前

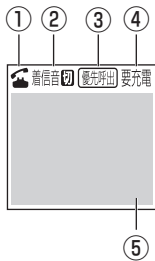
①	**着信ランプ** 着信があったときに緑色のランプが点滅します。
②	**マルチファンクションキー** 電話帳で相手の方を選ぶときや、登録操作をするときに使います。 また、押す方向によって、次の機能を兼用しています。 ● （上）は、（受話音量）（☞1-30ページ） お話し中に、受話音量を変えるときに使います。 ● （下）は、（スピーカー音量） スピーカーから音声が出ているときに、スピーカー音量を変えることができます。 ● （左）は、（再ダイヤル／着信記録）／ポーズ（☞2-12、2-36、4-3、5-13、5-15、5-17、5-19ページ） 同じ相手の方にもう一度、電話をかけ直すときに使います。（再ダイヤル） ナンバー・ディスプレイをご利用時は、着信した相手の方の番号や名前を表示できます。 また、電話番号の登録や発信の途中で、待ち時間を入れるときに使います。（ポーズ） ● （右）は、（電話帳）（☞2-35ページ） 電話帳に登録するときなどに使います。

③	**ホットラインダイヤルボタン（☞2-48ページ）** ホットラインダイヤルを使って電話をかけるときに使います。
④	**通話ボタン（表示ランプ兼用）（☞2-4、2-6ページ）** 外へ電話をかけるときや受けるときに使います。
⑤	**スピーカーホンボタン（表示ランプ兼用）（☞2-7～2-8ページ）** 子機を置いたまま、相手の方とお話しするときに使います。（スピーカーホン通話）
⑥	**文字切替／キャッチボタン（☞2-38、2-39、4-15ページ）** 文字を入力するとき、入力モード（漢、カナ、英字、数字）を切り替えるときに使います。 また、キャッチホンを利用するときに使います。
⑦	**機能（ファクス）ボタン（☞3-12～3-13、3-17、4-9～4-10、5-29ページ）** 登録操作やファクスの送受信、迷惑電話をお断りするときに使います。
⑧	**切ボタン（表示ランプ兼用）** 通話をやめるとき、また、登録操作を途中でまちがえたときや、やめるときに使います。
⑨	**ダイヤルボタン（表示ランプ兼用）** 電話をかけるときや、文字を入力するときに使います。また、次の機能を兼用しています。 **5 は、戻し（☞2-53 ページ）** 再生中に録音内容を聞き直したり、1つ前の録音を聞いたりするときに使います。 **6 は、送り（☞2-53 ページ）** 再生中に次の録音内容を聞くときに使います。 **9 は、早聞き（☞2-53 ページ）** 録音内容を早く聞くときに使います。（約1.5倍速） **トーン ＊ は、トーン（☞4-14 ページ）** ダイヤル回線で、プッシュホンサービスを利用するときに使います。
⑩	**保留／内線／クリアボタン（☞2-10、2-15、2-16～2-17、2-19、2-21、2-22～2-23、2-24、2-39、2-41ページ）** 通話中に、相手の方をお待たせするときや、内線通話をするときに使います。 また、入力した文字を消すときにも使います。
⑪	**マイク（☞2-7～2-8ページ）** 相手の方とお話しするときに使います。

①	スピーカー スピーカーホンでの通話や留守録音の再生などがここから聞こえます。

②	充電池ふた

③	トランシーバーボタン 子機間内線通話（トランシーバー方式）をするときに使います。 （☞2-16、2-22ページ）

④	電源プラグ コンセントに差し込みます。

ディスプレイ表示

①	通話ボタンを押すと表示します。
②	着信音を「切」に設定しているときに表示します。
③	優先呼出を設定しているときに表示します。
④	充電池の残量が不足しているときに表示します。
⑤	電話番号、現在時刻、電話帳、通話時間などを表示します。

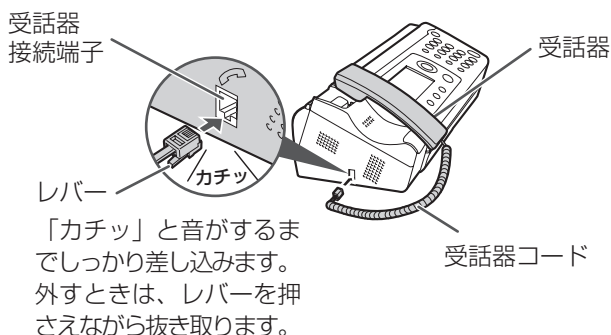
※上の図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

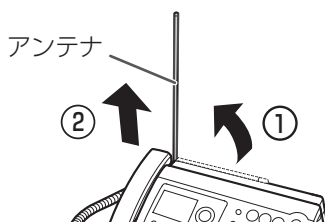
親機を接続する

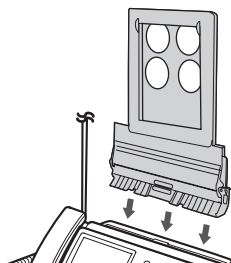
受話器、記録紙カセットを取り付ける

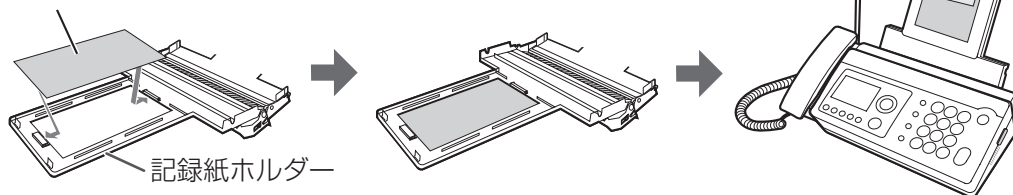
操作のしかた

1 受話器コードを、受話器接続端子と、受話器に差し込む

「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。外すときは、レバーを押さえながら抜き取ります。

2 アンテナを立てて伸ばす

アンテナを立てて伸ばさないと、電波の届く距離が短くなります。

3 記録紙カセットを取り付ける

向きに注意して、図のように取り付けてください。

こんなことができます

窓の部分にお好きなポストカードやハガキサイズの写真などを入れてお使いいただけます。

お知らせ

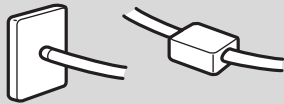
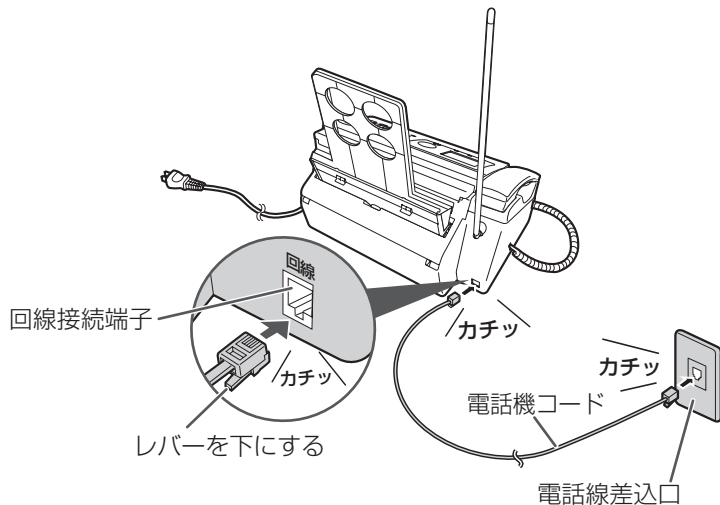
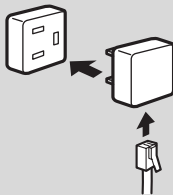
- この商品のプラスチック部分には、光の具合によってキズのように見える箇所があります。これはプラスチックの製作過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。

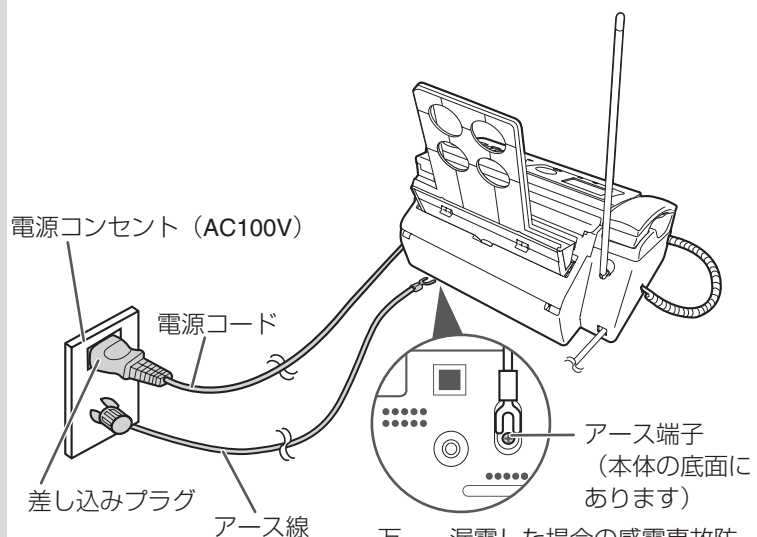
電話回線に接続する／日付・時刻を設定する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 電話機コードを、回線接続端子とご家庭の電話線差込口に差し込む

●コンセントのタイプについて

直接配線（ローゼット／プレート）の場合、最寄りのNTTにご相談ください。

３ピンプラグ式コンセントの場合、市販のモジュラー付の電話キャップをお買い求めください。

2 差し込みプラグを電源コンセントに差し込む

●電話機コードを接続する前に差し込みプラグを電源コンセントに差し込んだ場合、親機の液晶画面が「デモモード」になります。そんなときは電話機コードを接続してください。「デモモード」が止まり、回線種別が設定され、日付・時刻を設定する表示になります。

万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線を底面のアース端子へネジ止めします。
アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。

次ページへ→

→つづき

3 電源が入り、「日付・時刻を設定」と表示されたら 決定 を押す

日付・時刻を設定
[決定] で設定
[停止] でｷｬﾝｾﾙ

4 ダイヤルボタンで日付を入れる

●ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に日付と時刻、曜日をプリントするので、日付・時刻は正しく設定します。

日付 04-06-10

例：0 4 0 6 1 0
２００４年 6月　１0日

● 数字を入れまちがえたときは、消去 ボタンを押して、もう一度入れ直します。
● 年は西暦年の下２桁を入れます。
【年入力】　２００４年　⇒　０４
　　　　　　　〜
　　　　　　２０４８年　⇒　４８

5 ダイヤルボタンで時刻を入れる

時刻 14:40

時刻は24時間制で入れます。ただし、表示は12時間制になります。

入力例：1 4 4 0
午後2時　４0分

表示例：２：４０ＰＭ

6 決定 を押す

●０秒から時計がスタートします

登録しました

7 電話回線が自動的に設定される

●10PPSの回線を使われているときは、手動で設定してください。

●回線種別を検出できなかったときは、自動的に20PPSに設定されます。

●回線種別とは…
電話回線の種類にはダイヤル回線（20PPS、10PPS）とプッシュホン回線（トーン）とがあります。
回線の種類が正しく合っていないと電話をかけることができません。
（利用している回線の種類は、NTTとの契約によります。）

●電話回線が自動的に設定されなかったときは
下のようにディスプレイ表示されます。

1:20 2:ﾄｰﾝ 3:10
1-3 を入力

回線種別自動設定ができませんでした。回線の状態によって自動的に設定できないことがあります。
回線種別が合っていないと電話をかけられなかったり、ちがう相手にかかったりすることがあります。

こんなときは 1あ 〜 3さ で回線を選んでください。

20PPS	▶	1あ
トーン（プッシュホン）	▶	
10PPS	▶	3さ

■ 回線の種類がわからないときは（☞1-20ページ）

■ 回線を手動で設定するときは（☞1-20ページ）

■ あとで日付・時刻を設定し直すときは

① 待受画面で 登録 を押す

② ◇ で「初期設定」を選び 決定 を押す

③ ◇ で「日付・時刻」を選び 決定 を押す

④ 操作のしかた（☞1-16ページ）の手順4～6の操作を行う

⑤ 停止 を押す

お知らせ

- 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）
- 日付が入れば、曜日は自動的に設定されます。年は送信したファクスにプリントされます。
- 電源コードを抜いたり、停電などで電源が切れると、日付・時刻の設定は保持されません。また、手順3、4、5で 停止 、消去 を押したり、操作の途中で約１分間何もしないでいると、日付･時刻は設定されずに待受画面に戻ります。このようなときは、待受画面の日付･時刻の表示は「1月1日 0:00AM」のままになり、「留守録時の日時スタンプ機能」などが働きません。上記の「あとで日付・時刻を設定し直すときは」をご覧になって日付・時刻を合わせてください。
- 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどに接続されている場合は、回線種別が正しく合わないことがあります。
- IP電話（インターネットを使った電話）サービスをご利用のときは、回線種別が正しく合わないことがあります。ご契約されている回線種別をご確認の上、手動で回線種別を設定してください。（☞1-20ページ）
- 電源を入れると、親機の底面等が部分的にあたたかくなりますが、故障ではありません。
- 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- この商品のプラスチック部分には、光の具合によってキズのように見える箇所があります。これはプラスチックの製作過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。

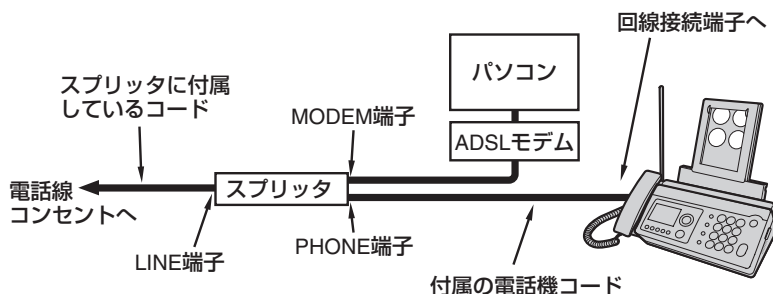
※電話回線をADSLやISDNに変更する場合は、「電話回線をADSLやISDNに変更したときは」（☞6-29～6-32ページ）をご覧ください。

ADSL回線やISDN回線をご利用のときは

インターネットやパソコン通信にADSLやISDN回線（INSネット64）を利用する場合は、本商品とパソコンの両方を接続することができます。ADSLを利用するにはADSL各サービス会社へ、ISDN回線を利用するにはNTTへの申し込みが必要です。

■ ADSL回線の場合

●ADSLには加入電話と共有するタイプ（タイプ1）と共有しないタイプ（タイプ2）があります。
タイプ2のときは本商品をお使いになることができません。
タイプ1のときは、下図のようにスプリッタの「PHONE端子」（各ADSLサービス会社によって名称の異なることがあります）に親機を接続します。

●本商品の回線種別はご契約の回線種別に設定してください。お使いのADSLモデムによっては回線種別が合っていなくても電話がお使いになれますが、0120（フリーダイヤル）などがご利用になれない場合があります。

※ ADSLモデムによってはスプリッタが内蔵されているものがあります。
※ IP電話をご利用の場合は、接続方法が異なることがあります。くわしくは、お使いになるADSL機器の説明書をご覧ください。

■ ISDN回線の場合

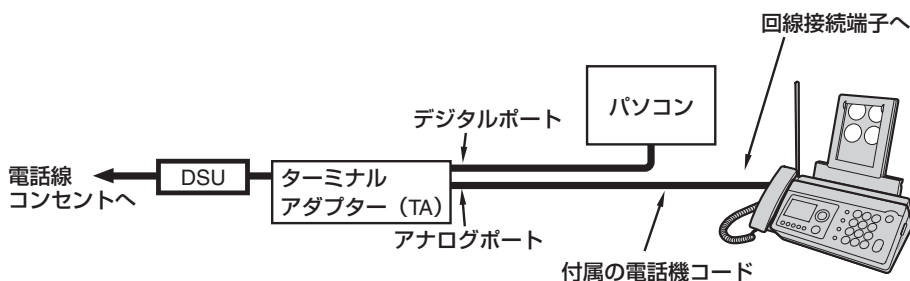
●ISDNターミナルアダプター（TA）の「アナログポート」（TAメーカーにより名称の異なることがあります）に親機を接続します。

●ターミナルアダプターとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。あらかじめご用意ください。なお、ターミナルアダプターによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。

●回線種別は「トーン」に設定してください。

●ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。対応状況は、お使いのTAメーカーにお問い合わせください。

●ナンバー・ディスプレイに対応していないターミナルアダプターをお使いのときは、本商品のナンバー・ディスプレイの利用設定を「しない」に設定してください。（☞5-3ページ）

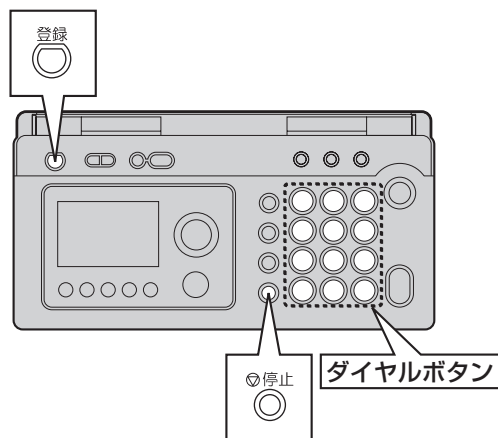
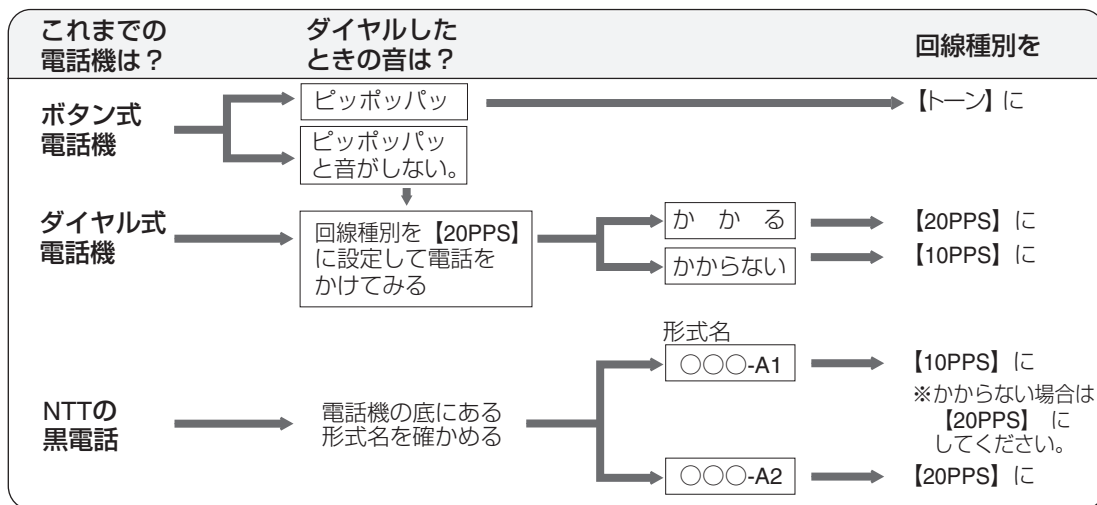
●ISDNをご利用のときは、ターミナルアダプターによって電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。こんなときは「TA対応」の設定を変更してください。（☞7-7ページ）

※ ターミナルアダプター（TA）によってはDSUが内蔵されているものもあります。お使いになるターミナルアダプター（TA）の説明書もご覧ください。

お知らせ

一般回線やISDNからADSLに変更した場合、サービス会社や接続条件によっては、次のようになります。

- FAX送受信できなくなったり、電話にノイズが入ったりすること等があります。その場合は、各ADSLサービス会社にご相談ください。また、NTTを選択して送信するとエラーにならないことがあります。
- 電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話、PHSに発信した場合は、非通知になることがあります。通知したいときは、NTTを選択して発信してください。(NTT網で発信する方法はADSLのサービス提供会社にご確認ください。)
- 発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990等をつけた場合、また110、119、177、117、186、184、122等の番号にかけたとき、かからない（つながらない）などといった現象が発生することがあります。このときは、契約されている回線種別と機器の回線設定が合っているかどうかを確認いただき、合っていない場合は**手動で**設定しなおしてください。(☞ 1-20ページ)
- ADSLをご利用のときは、電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。こんなときは「TA対応」の設定を変更してください。(☞ 7-7ページ)

回線種別を合わせる（変える）ときは

回線種別を親機が自動的に設定できなかったときや、電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。もう一度、回線種別を設定し直してください。
また、10PPS回線をご利用の方も、この操作で10PPSに設定してからお使いください。

●回線の種類がわからないときは
回線の種類は、次の方法で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りのNTT支店、営業所にお問い合わせください。

お知らせ

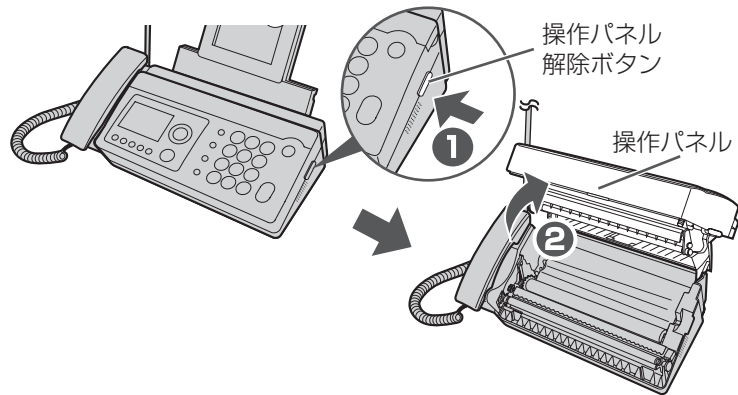
● 受話器を取った状態や､オンフックボタンを押した状態で、回線種別を変えることはできません。

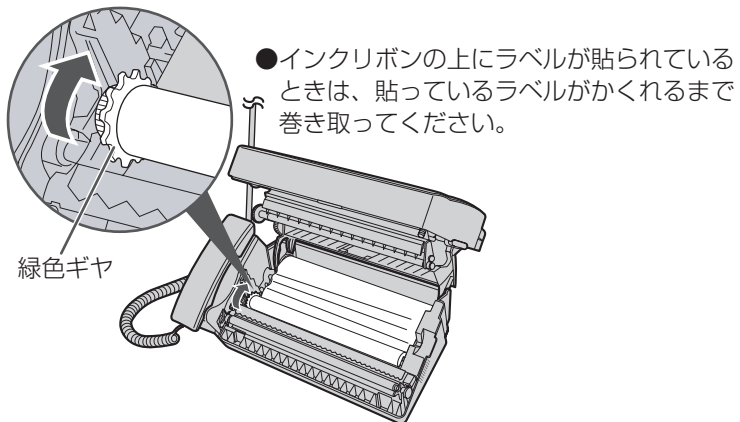
インクリボンを確認する

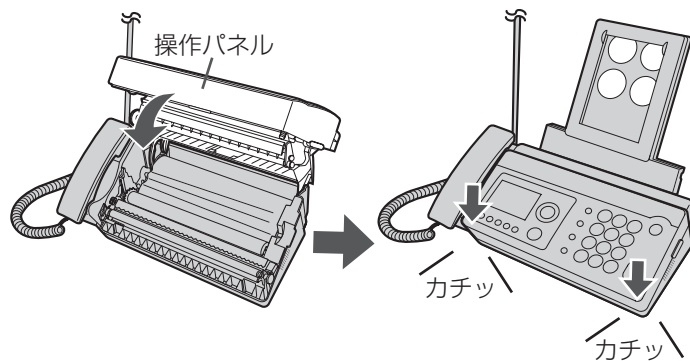
はじめてお使いになるときは、あらかじめ親機にセットされているインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。

操作のしかた 記録紙をセットしているときは、記録紙を取り出してから操作します。

1 操作パネル解除ボタンを押して操作パネルを開ける

●操作パネルをいっぱいに開けるととまります。

2 緑色ギヤを矢印の方向へ2～3回まわしてインクリボンのたるみを取る

●インクリボンの上にラベルが貼られているときは、貼っているラベルがかくれるまで巻き取ってください。

3 操作パネルを閉める

●手をはさまないように、注意してゆっくり閉めてください。

●「しばらくお待ちください」と表示された後、「記録紙／リボン確認」と表示されるときは、インクリボンがたるんでいます。こんなときは、もう一度手順１から操作をやり直してください。

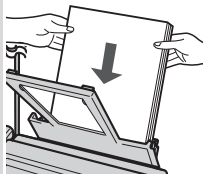
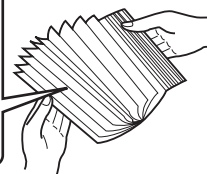
記録紙をセットする

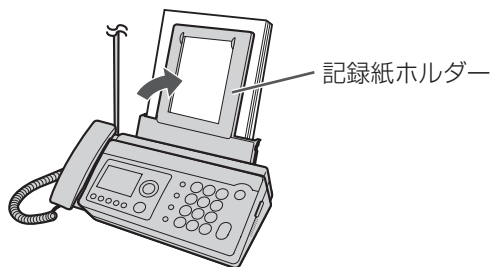
A4サイズの記録紙をセットします。
1度に30枚まで、記録紙をセットできます。

記録紙は付属していませんのでお買い求めください。記録紙は、A4サイズの当社推奨品をお使いください。(☞7-2ページ)
推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用するとプリントがかすれたり、濃く、または薄くプリントされることがあります。
推奨品 普通紙PP110MA4（シャープドキュメントシステム（株）扱い）
(ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください)

操作のしかた

1 記録紙ホルダーを開く

2 印刷する面をウラ向きにし、記録紙カセットにセットする（一度に30枚まで）

記録紙をよくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットしてください。
さばかずに紙の先端をそろえないでセットすると、記録紙が正常に送られないことがあります。

- 記録紙カセットが壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。
  このようなときは、親機の設置位置を少し前に寄せてください。
- 記録紙を強く差し込まないでください。

3 記録紙ホルダーを戻す

■ 記録紙を追加するときは

いったん記録紙を全部抜き取ってから、再度セットしてください。
プリント中は、記録紙を追加しないでください。

■ 記録紙がつまったときは（☞ 6-7ページ）

お知らせ

- しわや折り目のあるもの、反っているもの、また破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- プリント中に記録紙カセットを引き抜かないでください。
- 長期間、記録紙カセットに記録紙をセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。

子機を充電する

充電池をセットして子機を充電する

はじめてお使いになるときは、
必ず10時間以上充電 してください。

充電池の寿命

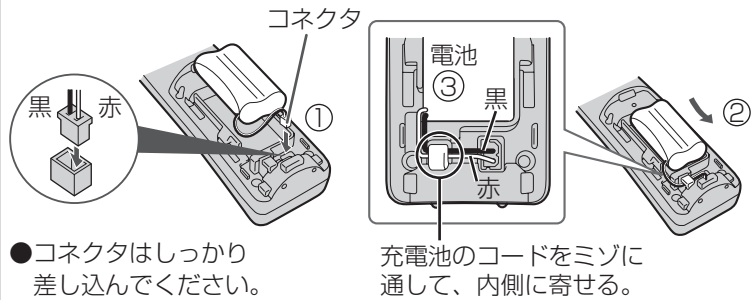
- 充電池にも寿命があります。古くなると充電しても使えなくなります。
- 使用頻度にもよりますが、約2年程度で使用できなくなります。長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときは新しい別売の充電池に交換してください。（別売品／消耗品 ☞7-2ページ）

通話時間について

いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は
- 通話状態で **約6時間** です。
- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約1分後に通話が切れます。（子機のディスプレイに“要充電”が表示されます。）このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話しください。
- スピーカーホン通話（☞2-7～2-8ページ）でお話しすると通話できる時間は短くなります。

操作のしかた

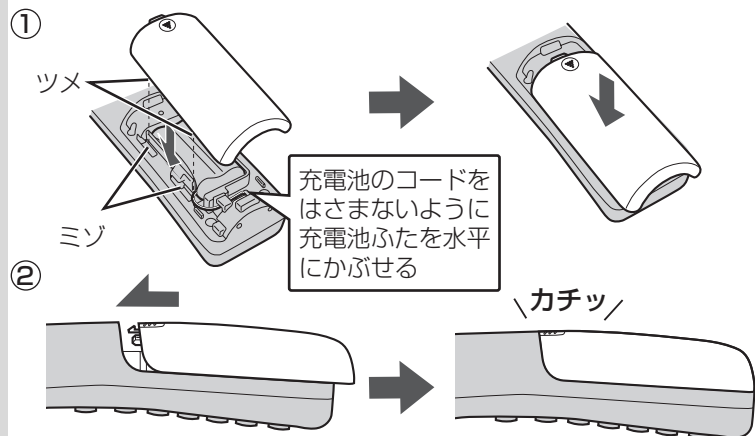
1 充電池のコネクタを接続して充電池を入れる

- 充電池のコネクタが正しく接続されていないと、充電器に置いたとき、「ポッ…ポッ…」と鳴って充電できません。

- コネクタはしっかり差し込んでください。

充電池のコードをミゾに通して、内側に寄せる。

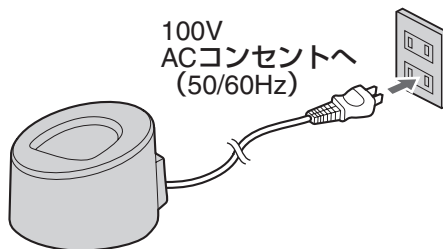
⚠警 告

充電池のビニールカバーをはがしたり、キズをつけないでください。充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

2 充電池ふたを取り付ける

「カチッ」と音がするまで充電池ふたをスライドさせて閉める

次ページへ→

→つづき

3 電源コードをコンセントに差し込む

⚠注 意

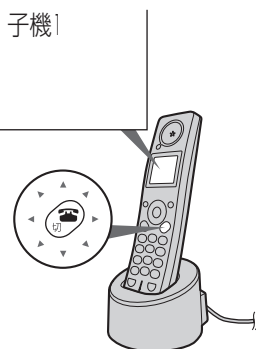
●充電器の上にコインやクリップなどの金属物を置かないでください。金属物が熱くなることがあり、やけど、けがの原因となります。
●磁力線がでていますので、磁気に弱い物を近づけないでください。キャッシュカード、テレホンカード、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど使えなくなることがあります。

4 子機を充電器に置く

はじめてお使いになるときは、切ボタンが点灯してから

10時間以上充電

してください。

子機を充電器に置くだけで、自動的に電源が入り（切ボタン点灯）、充電が始まります。充電が完了しても切ボタンは点灯したままです。

●子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。
●はじめて子機を充電するときは、切ボタンが点灯しても、液晶ディスプレイに **“子機１”** が表示されるまで時間がかかることがあります。
●充電中は充電器や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。
●ディスプレイに表示される **“子機１”** などの番号は、子機の内線番号です。
内線通話やとりつぎ転送するときに使います。

■ **内線通話やとりつぎ転送をするときは（☞2-14〜2-24ページ）**
■ **子機の液晶のコントラストを調整するときは（☞4-10ページ）**

お知らせ

● 旅行や長期不在により子機を使用されないときは、充電池のコネクタを外しておくことをおすすめします。
● 充電中は子機や充電器があたたかくなりますが、異常ではありません。
● 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
● 電磁誘導による充電の方式をとっています（無接点充電）。AMラジオなどが近くにあると雑音が聞こえることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また親機で通話／通信中のときも雑音やノイズが入ることがありますので、親機と充電器とを50cm以上話してください。

親機と充電器とを50cm以上離してご使用ください

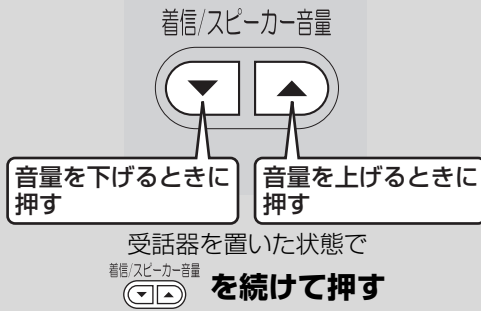
着信音量や着信音の種類を変える

電話がかかってきたときの着信音の大きさを変えることができます。

親機の着信音量を変える

電話がかかってきたときの着信音の大きさを変えることができます。

受話器を置いた状態で

着信/スピーカー音量 **を続けて押す**

●はじめに１回押すと、現在設定されている音量が確認できます（音量は変わりません。）。続けて押すと音量を変えることができます。

●ボタンを続けて押すと５段階に設定できます。

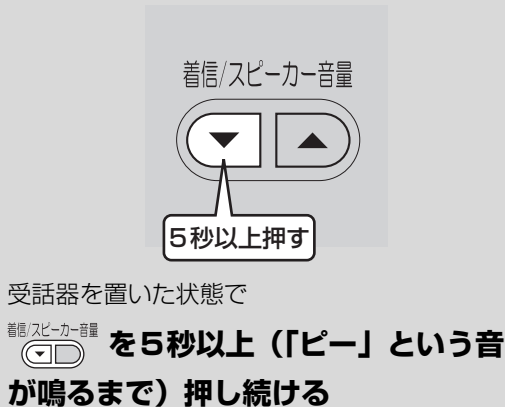
親機の着信音を鳴らさないようにする

着信音を鳴らさないようにすることができます。

着信/スピーカー音量

５秒以上押す

受話器を置いた状態で

着信/スピーカー音量 **を５秒以上（「ピー」という音が鳴るまで）押し続ける**

親機のディスプレイに 着信音切 が表示されます。このとき電話の着信音は、液晶ディスプレイの表示でわかります。

● 再び、着信音を鳴らすときは、着信/スピーカー音量 ボタンを押します。

●「切」にしているときでも、内線からの着信音は鳴ります。

親機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときの着信音の種類を変えることができます。親機の着信音は、あらかじめ32種類のメロディが内蔵されています。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、(上下ボタン) で「音関連設定」を選ぶ

1:初期設定
▶2:音関連設定
3:コピー設定

2 決定 を押し、(上下ボタン) で「親機着信音」を選ぶ

1:音量調整
▶2:親機着信音
3:応答メッセージ

3 決定 を押し、「着信音切替」を選ぶ

▶1:着信音切替
2:在宅時コール回数
3:留守時コール回数

4 決定 を押し、(上下ボタン) で着信音を選ぶ

01:電話ベル音
▶02:鳥の声
03:電子音

●はじめは（工場出荷時）電話ベル音に設定されています。着信音の種類については、下記「親機着信音一覧」をご覧ください。

5 決定 を押す

鳥の声
に設定しました

6 停止 を押す

■ **親機着信音一覧**

01	電話ベル音	12	はにゅうの宿	23	おもちゃのシンフォニー
02	鳥の声	13	バッハのメヌエット	24	ユモレスク
03	電子音	14	シンフォニー 40番	25	アラーム1
04	3声のインベンション 1	15	2声のインベンション 2	26	アラーム2
05	ビバルディの春	16	2声のインベンション 13	27	アラーム3
06	アイネ・クライネ	17	山の音楽家	28	アラーム4
07	ビバルディの冬	18	ジングルベル	29	アラーム5
08	ます	19	乙女の祈り	30	アラーム6
09	ジュ・ト・ブ	20	花	31	アラーム7
10	春の歌	21	セレナーデ	32	アラーム8
11	2声のインベンション 1	22	アマリリス		

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

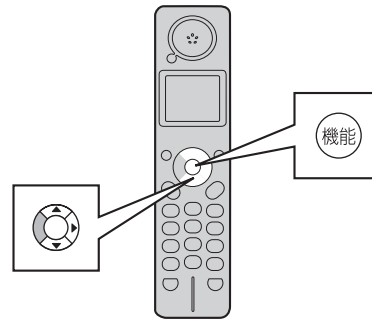
■ **1つ前に戻るときは**

消去 を押します。

■ **設定した親機の着信音を確認したいときは**
（親機の着信音量を変える ☞1-25ページ）

お知らせ

● 内線からの着信音は、常に「プルルル、プルルル」です。
● 受信モードの設定（☞7-8ページ）を「FAX優先」にすると、親機の着信音は「電話ベル音」になります。

子機の着信音量を変える／鳴らさないようにする

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押し、**（上下ボタン）**で「着信音量」を選ぶ**

用件再生
優先呼出
▶着信音量
◀終了　選択▶

2 （右ボタン）**を押す**

3 （上下ボタン）**で音量を選ぶ**

▶大
小
切
［機能］決定

- 「大」「小」「切」のいずれかを選びます。着信音を鳴らさないようにするときは、「切」を選びます。
- 「切」に設定すると［着信音切］が表示されます。このとき電話がかかってくると、着信ランプが点滅し、「(((着信)))」と表示されて着信がわかります。

4 （機能）**を押す**

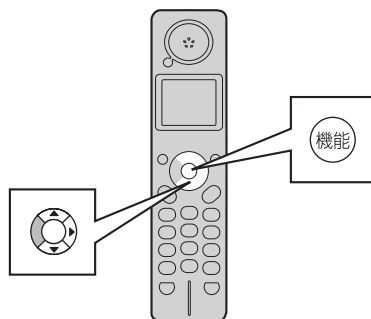
着信音量
大
　にしました

- 「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

お知らせ

- 親機や他の子機から呼び出しを受けた場合、着信音を「切」にしていても、着信音が「小」の大きさで鳴ります。
- 優先呼出（☞2-9ページ）を設定した子機の着信音を「切」にしているときは、外から電話がかかってきても、親機、子機ともに着信音は鳴りません。
- 親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定にしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。

子機の着信音の種類を変える

子機の着信音は、あらかじめ10種類内蔵されています。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押し、**（上下キー）**で「着信音色」を選ぶ**

優先呼出
着信音量
▶着信音色
◀終了　選択▶

2 （右キー）**を押す**

着信音色
◆：音色選択

［機能］決定

●現在設定されている着信音が鳴ります。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

3 （上下キー）**で着信音の種類を選ぶ**

●選ぶたびに、着信音（確認音）が鳴って確認できます。

●着信音の種類は表示されません。

01	「プルルル　プルルル」
02	「ポロロロ　ポロロロ」
03	「ピロン　ピロン」
04	「ショートメロディ①」
05	「ショートメロディ②」
06	「眠りの森の美女」
07	「春の歌」
08	「トルコ行進曲」
09	「森のくまさん」
10	「インベンション」

4 （機能）**を押す**

着信音色

設定しました

●「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

お知らせ

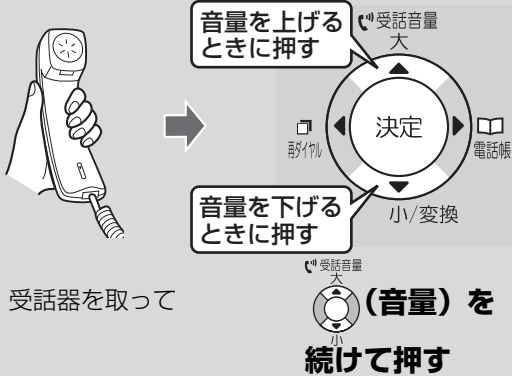
● 内線からの着信音は、常に「プルルル、プルルル」です。

● 親機または子機からの内線着信音は変わりません。

受話音量やスピーカーの音量を変える

相手の声が聞きとりにくいときは、受話器やスピーカーから聞こえる音の大きさを変えることができます。

親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

受話器を取って

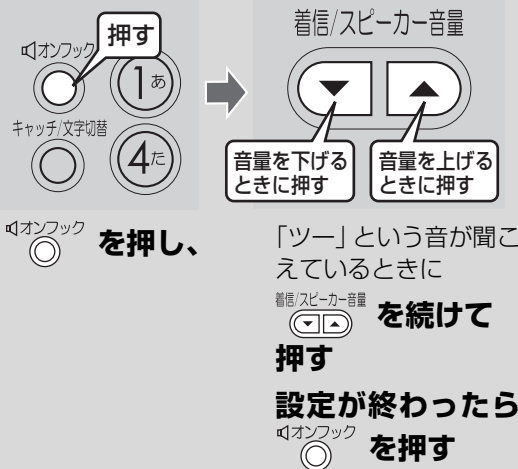
（音量）を続けて押す

● はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。

音量=小▮▮　大

● ボタンを続けて押すと５段階に設定できます。

親機のスピーカー音量を変える

録音再生時にスピーカーから聞こえる音の大きさや、通信時の音声ガイダンス（「ファクスを送信します。」など）の大きさ、留守録の応答メッセージの大きさ、読上げボイスダイヤル機能の音の大きさを変えることができます。それぞれの音量を個別に変えることはできません。

を押し、

「ツー」という音が聞こえているときに

を続けて押す

設定が終わったら を押す

● はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。

音量=小▮▮　大

● ボタンを続けて押すと５段階に設定できます。

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは**
（親機送話音量を調整する　☞6-2ページ）

■ **親機のダイヤルボタンを押したときの音声を発声させないようにするときは**
（読上げボイスダイヤル機能　☞4-4ページ）

■ **親機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」という音を鳴らさないようにするときは**
（キータッチ音を設定する　☞4-8ページ）

子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

通話中に

1

を押す

●押すたびに変わります。

はじめは「標準」になっています。
「標準」「大」「特大」の３段階に設定できます。（押すたびに切り替わります。音を聞きながら設定してください。）

子機のスピーカー音量を変える

スピーカーホン通話しているときや、録音再生時などスピーカーから聞こえる大きさを変えることができます。

スピーカーから音が聞こえているときに

1

を押す

●押すたびに変わります。

はじめは「標準」になっています。
「標準」「大」の２段階に設定できます。（押すたびに切り替わります。音を聞きながら設定してください。）

■ 相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは
（子機送話音量を調整する ☞6-2ページ）

■ 子機の受話音量を全体的にさらに大きくしたいときは
（子機受話音量を調整する ☞6-2ページ）

■ 子機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」という音を鳴らさないようにするときは
（キータッチ音を設定する ☞4-10ページ）

お知らせ

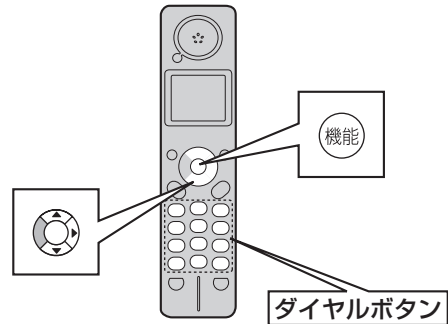
● 受話音量を「特大」にしているとき、音が歪む場合があります。
このときは、音量を「標準」にしてください。

日付と時刻を合わせる

親機の日付と時刻を合わせる

- 親機の日付や時刻を変えるときは、「■あとで日付・時刻を設定し直すときは」(☞1-17ページ)をご覧ください。
- 電源コードを抜いたり、停電などで電源が切れると、日付・時刻の設定は保持されません。あらためて設定してください。(☞1-16〜1-17ページ)

子機の時刻を合わせる

子機の時刻を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。(親機の時刻を合わせても子機の時刻は合いません。)

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押し、（選択）で「システム設定」を選ぶ**

アラーム
お好み設定
▶システム設定
◀終了　選択▶

2 （▶）**を押す**

▶時計登録
使用者表示
登録初期化
◀戻る　選択▶

3 **「時計登録」を選んで（▶）を押す**

時計登録
00:00
[機能] 決定

4 **ダイヤルボタンで時刻を入れる**

時刻は24時間制で入れます。

時計登録
15:00
[機能] 決定

例：1 5 0 0
午後3時　00分

- 1ケタのときは、最初に「0」をつけて入れます。
  例：0 9 0 8
  午前9時　8分
- 数字を入れまちがえたときは、（◀▶）でまちがえた数字を選んで、もう一度、入力し直します。

5 （機能）**を押す**

子機1
15:00

- 「ピー」と鳴ったあと待受画面に戻り、0秒から時計がスタートします。

■ 途中でやめるときは

（切）を押します。

■ 「ピピピピ」と鳴ったときは

時刻として入力できる範囲を超えた数字が入力されています。はじめから入力をやり直してください。

お知らせ

- 子機は時刻の表示も24時間制となります。
- 時計の精度は、1ヵ月に±60秒ほどの誤差があります。（25℃の常温の場合）
- 充電池のコネクタが外れたり、充電池の容量がなくなると、設定した時刻は消えてしまいます。再度、登録してください。
- 操作の途中で約2分間何もしないでいると、待受画面に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。
- 待受画面のときに切ボタンを押すとディスプレイ表示が約5秒間点灯します。

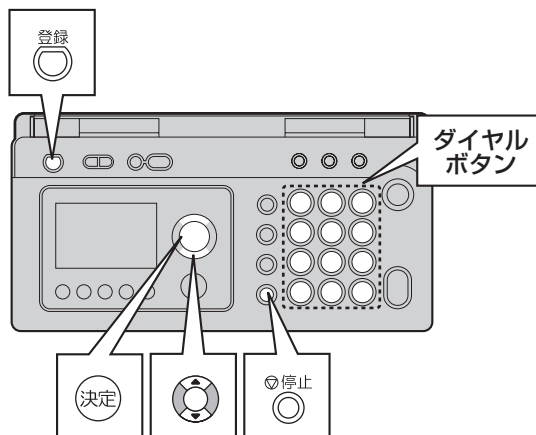
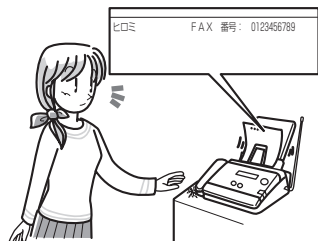
あなたの電話番号や名前を登録する（親機）

あなたの電話番号を登録する

登録した電話番号は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。
ファクスを受けた相手の方には……

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 〔登録〕 **を押し、「初期設定」を選ぶ**

```
▶1:初期設定
 2:音関連設定
 3:ｺﾋﾟｰ設定
```

2 〔決定〕 **を押し、**〔▲▼〕 **で「発信元番号」を選ぶ**

```
 1:日付・時刻
▶2:発信元番号
 3:発信元名
```

3 〔決定〕 **を押し、「登録」を選ぶ**

```
▶1:登録
 2:消去
```

4 〔決定〕 **を押す**

```
NO. =
FAX NO.ｾｯﾄください
```

5 **電話番号を入れる（最大20ケタ）**

```
NO. =0312345678
最後に決定を押します
```

●番号を入れまちがえたときは消去ボタンを押して、もう一度入れ直します。
●スペース（空白）を入れるときは 〔#〕 を押します。
プラス（＋）を入れるときは 〔＊トーン〕 を押します。

6 〔決定〕 **を押す**

```
登録しました
```

7 〔停止〕 **を押す**

■ **途中でやめるときは**

〔停止〕 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

〔消去〕 を押します。

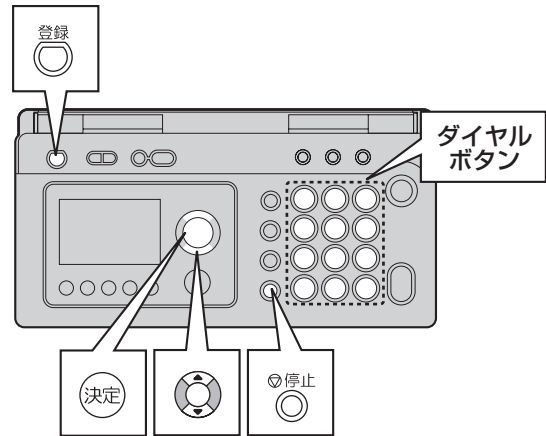
■ **登録した電話番号を消すときは**

① 手順１～２の操作を行う
② 〔決定〕 を押し、〔▲▼〕 で「消去」を選ぶ
③ 〔決定〕 を押す（「発信元番号消去 ［決定］で決定」と表示されます。）
④ 〔決定〕 を押す
⑤ 〔停止〕 を押す

■ **登録した電話番号を変えるときは**

一度消してから、もう一度登録します。

あなたの名前を登録する

登録した名前は、電話番号と同じく相手の方の記録紙にプリントされます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 **を押し、「初期設定」を選ぶ**

▶1:初期設定
2:音関連設定
3:ｺﾋﾟｰ設定

2 決定 **を押し、** ◇ **で「発信元名」を選ぶ**

1:日付・時刻
2:発信元番号
▶3:発信元名

3 決定 **を押し、「登録」を選ぶ**

▶1:登録
2:消去

4 決定 **を押す**

名前？ [漢]

5 名前を入れる（最大全角12文字／半角24文字）

●文字の入力方法は、2-29～2-32ページをご覧ください。

6 決定 **を押す**

登録しました

7 停止 **を押す**

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

消去 を押します。

■ **登録した名前を消すときは**

① 手順1～2の操作を行う
② 決定 を押し、◇ で「消去」を選ぶ
③ 決定 を押す（「発信元名消去 ［決定］で決定」と表示されます。）
④ 決定 を押す
⑤ 停止 を押す

■ **登録した名前を変えるときは**

一度消してから、もう一度登録します。